

本庄南ロータリークラブ



会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00
 例会場 埼玉グランドホテル本庄
 事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-004本庄市駅南2-2-1
 Tel : 0495-23-0141 / Fax : 0495-23-0141
 E-mail : rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 矢部 一臣 会報広報委員会 / 委員長 飯塚能成
 幹事 星野 栄一 / 委員 木村真純 堀川 明

第699回例会

9月30日(火)

発行 平成20年10月7日

司会 / 奈良橋秋夫 SAA
 点鐘 / 19時00分 矢部一臣会長
 ソング / 奉仕の理想

会長挨拶

矢部一臣 会長



クラブの例会 (Club meeting)

皆さん、今晚は。

ここ数年、いわゆるシティ・マラソンが年々ブームになり、各地の市民マラソン大会に多くのシティランナーが参加するようになりました。特に女性がダイエット、ファッションからスタートして、熱心なランナーになり、楽しむようになる傾向があるようです。私も年に何回か各地のマラソン大会に参加しています。

今年は、11月3日に、群馬県前橋市を走る群馬県民マラソン、12月14日に、埼玉県小川町を走る小川和紙マラソンのそれぞれハーフマラソンの部へ申し込み、エントリーしています。

東京マラソンは、今年、第3回目ですが、大変に申込みの多い大会です。私も第1回大会に申込みをしましたが、抽選の結果、落選でエントリーできませんでした。今回も再度、フルマラソンの部に参加の申込みをしました。今回のフルマラソンの部は、定員3万人のところ、なんと22万6378人も申し込みがあったということです。7.5倍以上の競争率ということになります。抽選結果は、11月になります。通行止めになった大東京の都心の道路を多くの応援者の中で多くのランナーと走る42.195kmは、爽快なものだと思います。まずは、当選結果を待っているところです。

さて、今日のロータリー情報は、クラブの例会 (Club meeting) です。

さまざまなプログラム

クラブ例会への出席は、ロータリアンの会員義務の一つです。その例会は点鐘から始まります。その後のプログラムについては、食事、会長スピーチ、

国際ロータリー (R.I.) や地区、近隣のクラブからのお知らせ、各委員会の報告などと続きますが、その順序は、クラブによってさまざまです。ロータリーソングを歌ったり、クラブによっては童謡などを歌っているところもあります。「四つのテスト」や「ロータリー綱領」を唱和するクラブもあります。

また、ゆっくりと食事をしたり、例会での話をたくさん楽しむため、などの目的で、食事をする時間を例会時間には含まず点鐘前に例会場へ来た人から、食事を取るというクラブもあります。例会時間も、おおそ時間の日本国内とは異なり、国外では長短バラエティーに富んでいるようです。

卓話は、毎週の例会のハイライト。クラブの会員が自分の職業やロータリーについて話をしたり、ロータリアン以外の人を迎えて話をしてもらったりします。また、クラブで世話をしている米山奨学生や交換学生が話をする場合もあります。

なお、卓話者への費用については、「クラブがR.I.の現または元役員あるいは他のロータリアンを招く場合は、そのクラブが費用を負担しなければならない (ロータリー章典8.030)」とあります。ロータリアン以外の卓話者についても、一定の交通費や謝礼、記念品などを渡しているようですが、その内容はクラブによって異なります。

例会出席という義務

前述の通り、ロータリアンには、例会に出席するという義務があります。出席の要件については、詳しく標準ロータリー・クラブ定款 (第8条および第1条第4節) に規定されていますが、ホームクラブに出席できないときには、他クラブの例会や、ロータリーのその他の会合 (地区大会やインターシティミーティングなど) に出席する「メイクアップ (Make-up)」という方法で、通常の例会欠席を補うことができます。

宗教や文化などに配慮する

例会の運営にあたり、留意することが数点あります。例えば宗教 (具体的には招詞や祈祷) に関する世界中的ロータリークラブには、いろいろな宗教的信仰あるいは価値観をもって人類へ

宗教的信仰あるいは価値観をもって人類への奉仕に結束している会員がいますから、自治的なものであるロータリーは、すべてに寛容の精神で臨むことになっていきます。

飲酒に関しては、法律や文化の範囲内でクラブの裁量に任されています。喫煙については「個人の健康に有害であることを認識し、会員ならびに来賓は各自、会合およびその他のロータリー関連の行事の期間、喫煙を控えるよう奨励される（RI細則2.040）」（『手続要覧2004年』P12）とあります。また、特別な場合を除いて、ロータリー以外の奉仕クラブと合同で週例会を開くことは、禁止されています。

ロータリーに関するプログラムを充実する

自分たちのクラブ細則の中には、親睦や卓話、その他の特別なプログラムを具体的に規定した、クラブ例会議事順序を規定することが必要とされています（ロータリー章典7.010.1）。ロータリーは単なる社交クラブではないのですから、娯乐的なものより当然、ロータリーに関するプログラムを充実させるよう、心がけねばなりません。同一地区内の他クラブの会長を招待し、来訪会長にそのクラブでの活動などについて、概要を話してもらうことも奨励されています。これにより、他クラブとの親睦を図ることができますし、奉仕プロジェクト交換ということも設定できるかもしれません。

通常例会とはスタイルを変えて、例会をすることもあります。他クラブとの合同例会、日本のロータリークラブならではのお花見や観月例会、月に一度の早朝や夜間例会、ということもあります。

また、やや事務的処理色の濃い例会になってしましますが、クラブ用務、活動、クラブ行事の討議のためだけの例会も定期的に開くように奨励されています。時には前後左右を点検し前進していこう、ということです。

さらに、ロータリー年度に少なくとも2回、ロータリー財団の目的、財団プログラム、財団の寄付増進活動に関するプログラムを行う会合を設けるように、となっています。これらの会合のうち1つは、ロータリー財団月間である11月中に行うことになっています。

時には会員以外の人を招く

例会への来賓（Guest）についてですが、特に興味深いプログラムが準備できた、というときにはロータリアンではない地元の人、一般の人々を招待してほしいとされています。ロータリークラブの役割とその目的を理解してもらう広報のいい機会になるからです。

若い人たち、学生や生徒たちも来賓として奨励されています。彼らにも、ロータリーのことを知ってもらえます。来賓は、なるべくいろいろな人に来てもらうことがクラブにとってもよい刺激になりますから、同じ人を繰り返し、というのは望ましくないとされています。

もちろん、ロータリアンと配偶者は、大歓迎です。例会にクラブの会員以外の人に参加すれば、クラブの奉仕活動の実態を知ってもらえて、親睦も深まり、さらには新会員の入会につながるかもしれないからです。

人生を豊かにするために

例会場ではまず受付へ。会員以外の訪問者（ビジター）は受付で「ビジターフィー（訪問費）」を支払い、名札をつくってもらいます。何でお金がいるのかな、と思われるかもしれませんが、ビジターのための例会時食事代として充当されるようです。ほとんどのクラブでは、一定の金額のビジターフィーが決まっています。海外では「食事」「飲み物」「何もいらない」など受付で選択して、それに応じたビジターフィーを払うクラブもあります。

受け付けを済ませると、クラブの担当者が席に案内してくれます。訪問者のための席次が決まっています、世話係の隣だったり、会長幹事などクラブ役員メンバーと同じテーブルだったりするクラブもあれば、まったく自由に、空いているところへどうぞ、というフリースタイルのクラブもあります。受付などにニコニコ（スマイル）ボックスが置いてある場合もありますが、献金するかどうかは自由。また、クラブによって金額も異なるようですから、迷ったらどなたかに聞いてみてください。

訪問先のクラブ幹事からは「訪問ロータリアン報告用紙」（一般に「メイクアップカード」と言われます）に、メイクアップの旨が記入され、用紙はその場で手渡されたり、ホームクラブに送付されたりします。

例会のスタイルは実に多種多様です。かつて、日本のロータリーの創始者である米山梅吉が、「ロータリーの例会は人生の道場」と語っていたように、例会の出席はロータリーの会員としての基本です。単なる義務としてではなく、ロータリーで人生を豊かにするために、自クラブの、そして、時には他クラブの例会へ、ぜひ参加してみてください。

（「ロータリージャパン」から・・・『ロータリーの友』2006年5月号「基本の樹」に掲載）

幹事報告

星野栄一 幹事



9月26日（金）第2回会長幹事会に矢部会長として参りました。

「さいたま古墳群を世界遺産に」、

「ライラDayの参加」（担当 山田

勝治ライラ委員）、

「第4グループIM開催について」、「IMゴルフ大会開催について」等の協議が行われました。その詳細、本庄書道人連盟からの協賛に対する挨拶文、その他の各書簡、諸連絡事項等は、各関係文書を回覧をして下さい。

委員会報告

米山奨学会 戸谷 全克 委員



今月は、米山月間です。

今月の第3例会は、地区から米山奨学推進委員会の倉林敏純委員を招いて、卓話を頂く予定になっています。また、当クラブにおいては、今年も、例年同様、米山奨学奨学会に対する各寄付金の目標額達成を果たせるものと確信しています。

出席報告

松島雄二 出席委員長

会員数	出席	M U	欠席	出席率
22名	12名	10名	0名	100%

例会予定

- 10月 7日 会員スピーチとブレインストーミング
(会員組織)
- 10月 14日 家族例会(クラブ運営)於;みさご寿司
- 10月 21日 卓話 (米山)
講師 国際R I 第 2570地区 米山奨学部門
米山奨学推進委員会
委員 倉林敏純 様(児玉RC)
- 10月 28日 移動例会 (担当 親睦) 於; Lala

Lalaスタッフ



例会風景

